



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3666 URL http://www.tecnos.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉岡 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-6665-0030
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,528	8.8	26	△95.9	49	△92.9	△1	—
2019年3月期第3四半期	5,078	29.9	636	5.3	701	15.3	1,190	278.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △276百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 1,209百万円(283.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△0.09	—
2019年3月期第3四半期	60.36	60.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,694	4,755	70.8
2019年3月期	7,383	5,340	72.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,736百万円 2019年3月期 5,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,351	5.4	102	△87.0	112	△86.8	70	△95.0	3.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社テクノスグローバルカンパニー

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	20,400,000株	2019年3月期	20,400,000株
2020年3月期3Q	680,200株	2019年3月期	680,200株
2020年3月期3Q	19,719,800株	2019年3月期3Q	19,719,232株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景とした効率化への投資増加や堅調な企業業績が景気の緩やかな回復基調を下支えしたものの、米中、日韓の貿易摩擦、中国経済の減退、欧州の政治情勢混乱、中東情勢の緊迫化など、世界情勢の懸念点も多く、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済環境において、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収支の底堅さを背景にIT投資需要が増加基調にある一方で、その需要に対して国内IT技術者が不足傾向にあり、この状況は今後も継続する見込みであります。

このような状況の中、当社グループはERP・CRM関連ビジネスと、ビッグデータ・IoT・ブロックチェーン等の技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)推進ビジネスを柱に、グローバルでビジネスを展開してまいりました。ERP・CRM関連ビジネスにおいてはこれまで培ってきたプロジェクト推進方法論の体系化、標準化や、新技術の積極的な取り込みによるサービスの付加価値向上を、DX推進ビジネスにおいてはお客様や投資先、ベンチャー企業と新サービスの協創を推進してまいりました。また、海外拠点を活用しながら外国人材の積極採用やグループ会社間のグローバル人材交流を進めてまいりました。

第2四半期連結会計期間に計上したプロジェクト損失(営業損失)については、再発防止策の実施、新規案件の獲得およびプロジェクト利益率の向上に努め、業績の回復を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,528,045千円(前年同期比8.8%増)、営業利益26,122千円(前年同期比95.9%減)、経常利益49,648千円(前年同期比92.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,797千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,190,252千円)となりました。

業務区分別の業績については次のとおりであります。

a 基幹システム及び周辺ソリューション

ERP・CRMシステム導入支援業務を中心に、売上高は5,453,626千円(前年同期比8.1%増)となりました。

b その他

ツール・ライセンスの販売等により、売上高は74,418千円(前年同期比109.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ689,054千円減少し6,694,528千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ302,617千円減少し、3,933,345千円となりました。これは主に売掛金が346,766千円、仕掛品が49,747千円減少し、有価証券が100,963千円増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ386,437千円減少し、2,761,182千円となりました。これは主に投資有価証券が429,464千円減少し、建物附属設備が94,782千円増加したこと等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ103,894千円減少し、1,938,740千円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ29,653千円減少し、1,424,633千円となりました。これは主に未払法人税等が501,485千円、買掛金が96,590千円減少し、前受金が593,578千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ74,240千円減少し、514,107千円となりました。これは主に繰延税金負債が115,537千円減少し、資産除去債務が37,702千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ585,160千円減少し、4,755,787千円となりました。これは主に利益剰余金が317,998千円、その他有価証券評価差額金が262,123千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては2019年10月31日に発表いたしました「プロジェクト損失（営業損失）の計上・第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,765,167	1,790,029
売掛金	1,692,879	1,346,112
有価証券	—	100,963
仕掛品	594,218	544,471
前払費用	64,711	66,274
その他	118,986	85,495
流動資産合計	4,235,963	3,933,345
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	107,027	201,810
減価償却累計額	△52,311	△59,130
建物附属設備 (純額)	54,715	142,679
工具、器具及び備品	67,350	91,921
減価償却累計額	△51,443	△58,802
工具、器具及び備品 (純額)	15,907	33,119
建設仮勘定	14,905	—
有形固定資産合計	85,527	175,798
無形固定資産		
ソフトウェア	32,268	16,421
顧客関連資産	193,602	175,954
のれん	136,788	123,455
その他	36	36
無形固定資産合計	362,695	315,868
投資その他の資産		
投資有価証券	2,358,892	1,929,428
長期前払費用	33,772	38,612
繰延税金資産	9,265	2,677
敷金及び保証金	203,035	201,550
保険積立金	76,294	79,074
その他	18,134	18,173
投資その他の資産合計	2,699,395	2,269,515
固定資産合計	3,147,619	2,761,182
資産合計	7,383,582	6,694,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	475,079	378,489
未払金	114,539	81,575
未払費用	71,350	105,628
未払法人税等	526,848	25,362
未払消費税等	6,727	92,365
前受金	84,572	678,150
品質保証引当金	6,712	23,793
受注損失引当金	22,580	5,636
賞与引当金	107,052	12,350
役員賞与引当金	19,425	3,870
その他	19,399	17,410
流動負債合計	1,454,286	1,424,633
固定負債		
繰延税金負債	539,933	424,396
資産除去債務	33,925	71,627
その他	14,488	18,083
固定負債合計	588,347	514,107
負債合計	2,042,634	1,938,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	206,412	206,412
利益剰余金	3,862,077	3,544,079
自己株式	△579,839	△579,839
株主資本合計	4,051,170	3,733,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,279,385	1,017,261
為替換算調整勘定	△602	△13,840
その他の包括利益累計額合計	1,278,782	1,003,421
新株予約権	6,946	6,946
非支配株主持分	4,048	12,247
純資産合計	5,340,948	4,755,787
負債純資産合計	7,383,582	6,694,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,078,842	5,528,045
売上原価	3,783,230	4,560,481
売上総利益	1,295,612	967,564
販売費及び一般管理費	659,468	941,441
営業利益	636,143	26,122
営業外収益		
受取利息	7	7
有価証券利息	799	466
受取配当金	4,860	12,620
持分法による投資利益	48,761	—
助成金収入	8,905	5,770
為替差益	2,144	1,779
その他	1,189	3,451
営業外収益合計	66,667	24,095
営業外費用		
支払利息	1,102	569
営業外費用合計	1,102	569
経常利益	701,708	49,648
特別利益		
持分変動利益	189,771	—
関係会社株式売却益	804,055	—
特別利益合計	993,826	—
特別損失		
保険解約損	—	358
特別損失合計	—	358
税金等調整前四半期純利益	1,695,534	49,289
法人税、住民税及び事業税	472,940	41,574
法人税等調整額	30,448	8,101
法人税等合計	503,389	49,675
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,192,145	△385
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,892	1,411
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,190,252	△1,797

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,192,145	△385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,370	△262,123
為替換算調整勘定	11,339	△13,665
その他の包括利益合計	17,710	△275,789
四半期包括利益	1,209,855	△276,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,207,939	△277,168
非支配株主に係る四半期包括利益	1,916	993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったLirik Software Services Canada Ltd.について、重要性が増したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社テクノスグローバルカンパニーは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅会社となったことに伴い、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

連結子会社の吸収合併

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称	株式会社テクノスグローバルカンパニー
事業の内容	情報処理に関するソフトウェア・Webサイトの開発・製造・販売及び保守に関する業務 他

(2) 企業結合日

2019年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社テクノスグローバルカンパニーを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社テクノスジャパン

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社テクノスグローバルカンパニーはグループの海外におけるソリューションビジネスの推進、管理を目的として設立いたしました。当社グループ体制の見直しを図り、経営効率を高め事業体制をより一層強化していくため、当社を存続会社として、株式会社テクノスグローバルカンパニーを吸収合併することといたしました。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行いました。

なお、当該吸収合併は、連結財務諸表上、内部取引として相殺消去されるため、損益に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2019年12月18日開催の取締役会において、株式会社アックの発行済全株式を取得する旨の株式譲渡契約を締結することについて決議し、2019年12月23日付で株式譲渡契約を締結し、2020年1月10日付で全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社アック

事業の内容：コンピュータソフトウェアの設計、開発、保守（Salesforceを軸としたクラウドソリューションの提供、ERPを利用した基幹業務システムの開発・導入）

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは「企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する」をミッションとして、ERP・CRM関連のシステムインテグレーション事業とデジタルトランスフォーメーション推進事業を柱に、企業向けのITサービスを提供しております。

株式会社アックは、CRMのグローバルスタンダードである米国セールスフォース・ドットコム社のクラウド関連サービスとERP関連サービスを軸にビジネスを展開しております。

企業におけるビッグデータの活用が重要な経営課題となる中、CRM分野はますます重要な領域となっております。今回の株式取得による株式会社アックの子会社化は、当社グループの日本国内におけるCRM関連事業の強化を目的としております。

CRMの分野では、グローバルのIT市場を牽引している北米でCRM関連ビジネスを展開しているLirik Inc.（米国カリフォルニア州）を2018年6月に買収しました。今回の株式取得はCRM関連事業におけるIT技術者の育成や営業活動の効率化、サービス提供体制の強化といった面で、日本国内およびグローバルでシナジー効果を創出し、当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。

(3) 企業結合日

2020年1月10日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により議決権の100%を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	315,000千円
取得原価		315,000千円

3. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

デューデリジェンス費用等 3,150千円